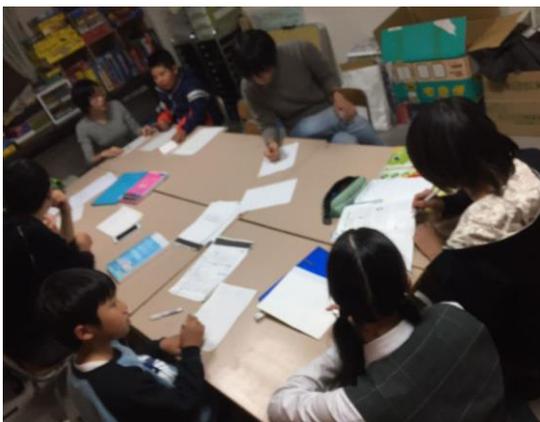
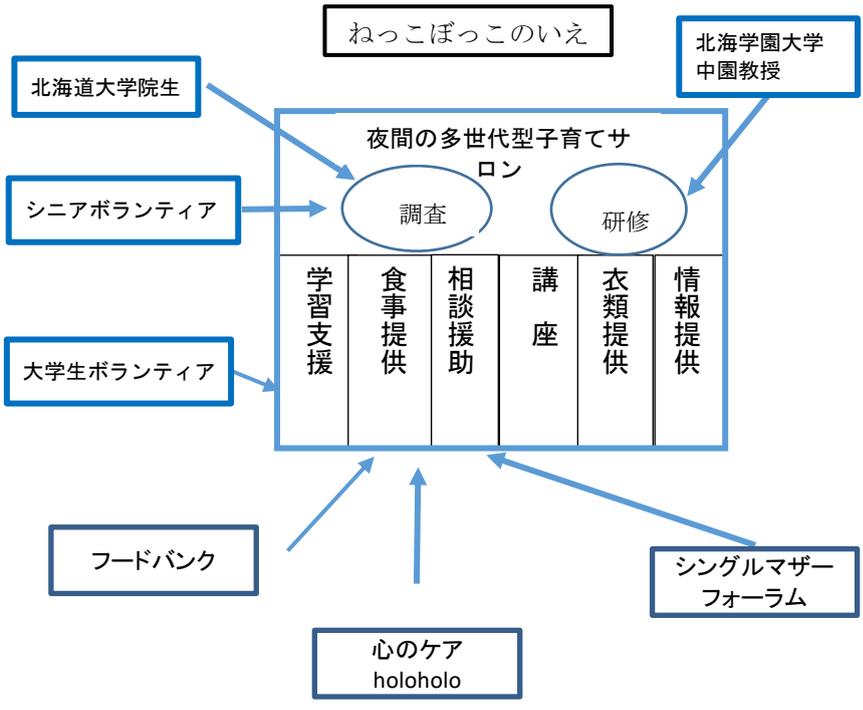


活動名	ひとり親家庭も集える夜間の多世代型子育てサロンの開催	団体名称	ねっこぼっこのいえ
		活動テーマ	経済的困難を抱える子どもを支援する活動
		活動の目的	②生活支援活動
■申請書の活動概要<150~200字>		■申請書のスケジュール	■各スケジュールごとの活動内容
ひとり親を含め働く親など誰でも利用できる夜間の多世代型子育てサロンを月1回開き、親子が気軽に利用し、一緒に食事をしたり、仕事で日中は、なかなか相談する場に繋がれない親も、気軽にスタッフや専門家に相談でき、困り事を一緒に考えたり、日常的に繋がりを持つ事で孤立を予防する。また、学習支援を実施し、経済的理由による学習の機会の格差を減らす。		2017.9中旬 2017.10~2018.8 2017.11/2018.5 2017.1/2018.7 2017.11/2018.2 2017.10~2018.8<随時>	【スタッフの研修】<1回> 【夜間の多世代型子育てサロン開催】月1回開催<11回> 【専門相談員による個別相談】<2回> 【講座の開催】<2回> 【衣類の提供】<2回> 【調査、報告書作成】
■活動目標	ひとり親家庭の親子の社会的な孤立予防と、子どもの学習機会の格差を減らすような支援体制の構築		
■長期成果	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭の親子が地域とのつながりの形成を図ることで、虐待や孤立化の予防 ひとり親家庭の子どもへの食事提供・学習支援・就学相談によって子どもの将来の選択肢が広がる 		
■活動風景			
			
<夕食タイム>		<学習支援>	
			
		<おさがり会(衣服提供)>	
■上期の成果と下半期に向けた改善点		■実施体制	
<p>(上期の成果)</p> <p>参加者は予想していたより沢山の参加があり、毎回50人前後と賑やかな状況はとても嬉しかった。まだ働いている親の参加は少ないが、回を追って参加がみられるようになってきたことも嬉しい。予想外に昼間の子育てサロンではみられない父親の参加も毎回あり、夜の子育てサロンならではの良さも感じられた。</p> <p>低額での夕食の提供は毎回人気でニーズがあることがわかった。中高生も、勉強をみてもらったり、いつもより遅くまでサロンに残って友達やサロンに来ている人達との交流に繋がっている。</p> <p>また、講座には、ひとり親の方に個別に声をかけ奨学金の情報などを伝えられたのも良かった。おさがり会も、沢山の衣服の寄付が集まり、それを目的に新規の参加もあり、若者にも喜ばれたり好評だった。札幌初の夜の子育てサロンということで新聞とテレビにも取り上げてもらえ広く伝えられた。</p> <p>(下期に向けた改善点)</p> <p>継続的な参加者の定着はあるが、反面、新規の参加が少なく伸び悩んでいる。Facebookのページには、新規で報告など見に来てくれる人も増えてきたが、参加するまでにはまだ敷居が高いのだと思われ情報の提供に工夫が必要だ。報告の内容をもう少し魅力的に参加者の目線で伝えられないかと思っていたところ、協力したいという子育て中の母親の申し出があり、参加者として、参加してみた感想などのレポートを報告にも取り入れることにした。</p>		 <p>ねっこぼっこのいえ</p> <p>北海道大学院生</p> <p>シニアボランティア</p> <p>大学生ボランティア</p> <p>フードバンク</p> <p>心のケア holoholo</p> <p>ねっこぼっこのいえ</p> <p>夜間の多世代型子育てサロン</p> <p>調査</p> <p>研修</p> <p>学習支援</p> <p>食事提供</p> <p>相談援助</p> <p>講座</p> <p>衣類提供</p> <p>情報提供</p> <p>北海道学園大学 中国教授</p> <p>シングルマザーフォーラム</p>	
〒062-0051 (住所)北海道札幌市豊平区月寒東1条2丁目10-9 (団体名)ねっこぼっこのいえ (ホームページ): http://nekkobokko.main.jp/		助成金額 650,000円	
		助成期間	
		H29.9.1~H30.8.31	

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。